



国際ロータリー第2680地区
Rotary
加古川ロータリークラブ



Weekly Reports 2019-2020

2019-20年度 RI会長; マーク・ダニエル・マローニー / 地区ガバナー 浅木 幸雄
加古川ロータリークラブ会長; 枝川 潤一 / 幹事; 大辻 利紀
〒675-0064 兵庫県加古川市加古川町溝之口800番地 加古川商工会議所会館5F
TEL 079-423-0661 FAX 079-423-0677 e-Mail kakogawa@rotaryclub.ne.jp

令和2年1月28日(火) 曇 No. 26



▲会長挨拶



▲幹事報告の久後副幹事



▲岡井会員の卓話

会長の時間

会長 枝川 潤一

<新型コロナウイルス感染症で今語れること>

本日は予定を変更して、日ごとに感染が拡大し本日「指定感染症」に指定された新型コロナウイルス感染症と一般的な感染予防策について私なりに話してみます。以下、当日のスピーチより加筆したことをお断り致します。

1. 新型コロナウイルス感染症

- コロナウイルス：種類は多いようですが、重症化するのにはSARS（重症急性呼吸器症候群）、MERSと今回の新型のみ。今回の新型の遺伝子配列は既にオープンにされていてSARSウイルスとは異なる。
- 臨床症状：発熱、咳、息苦しさ等。（追記：無症状の感染者がいる）
- 感染経路：飛沫感染（つば、痰）と接触感染による。殆ど空気感染はしないと考えられている。
- 潜伏期間（感染してから症状が出るまでの期間）：今回の新型では1～14日、平均10日？、SARSは2週間程度。これだけ潜伏期間が長いと水際の検疫で国内への侵入を防止するのは不可能で、今後国内でも新型が発症し流行するおそれがある。
- 感染力（一人の感染者から平均で何人の人にうつっているか）：WHOの初回見積<1,4～2,5>より高く3を超すかも。ちなみにインフルエンザは<1,4～3>、SARSは<2～5>、2の10乗=1024、5の5乗=3125。
- 致死率（死亡者数/感染者数）：1月30日現在の致死率は2%とSARSより低く、しかも死者はすべて中国国内に限られている。一般的には、日時の経過とともに致死率は更に下がると思われる。
- 重症化リスク：高齢者や基礎疾患を有する人は肺炎を起こし重症化する危険性があるので注意したい。逆から言えば感染しても軽症で済む人が相当あると考えられ、2003年のSARSでは子どもはあまり重症化しなかった。

- 変異に注意：人に感染して広まっていく中でウイルスが変異して病原性が変わって行く可能性がある。
- 治療およびワクチン：インフルエンザのような特效薬やワクチンは現時点ではないが、その初期取組みは既に始まっている。

2. 我々が出来る感染予防策

- 手洗い：石鹸等を使った手洗いがマスクより有効な予防策となる。消毒用アルコールも有効である。ドアノブ、テーブル、トイレ、電車のつり革、マスクの外側（表面側）等を触った手で口元、鼻、眼などを触ると接触感染が成立するので、正しい手洗いをこまめに行うことが大切である。
- 普段の健康管理：十分な睡眠と栄養によって免疫力を保持する。
- マスク：感染予防の観点からは、症状がない人のマスク着用の効果は屋内や混みあった場所に限られるかもしれない。
- 本格的な県内流行期に入れば、不要不急な外出を控える。
- もし自分自身に何らかの心配な状況があった場合には、自ら14日間の健康観察（1日2回の体温測定を含む）を行いたい。

3. 症状が出たとき（新型コロナウイルス感染症の疑いがあるとき）

- 疑い要件：厚労省は、まず発熱または咳などの呼吸器症状があつて、かつ①新型コロナウイルスの確定患者またはその疑いがある患者との接触歴があるか②中国湖北省武漢市への渡航歴がある場合を要件としている。
- 電話連絡：上記要件に該当する場合には事前に健康福祉事務所（保健所）か医療機関へ電話して、その指示に従って行動して下さい。
- 検査：上記要件に該当しなければ、現時点では患者や医療機関が希望しても保健所は検査をしてくれません。
- マスク着用：症状がある場合に他人にうつさないための行動として必ずマスクを着用していくことが重要で、当然ながら正しく着脱すべきである。
- 咳エチケット：他人にうつさないための行動として普段から励行したい。咳・くしゃみをするときは口と鼻をティッシュ、ハンカチまたは腕肘あたりで覆い、直接素手を使わないようにする。その後始末にも注意を要する。
- 指定感染症患者（疑いを含む）は、報道されたように受診させる医療機関が限定され、また、入院措置や濃厚接触者の健康観察などが行われうる。

4. 最後に

- 新型コロナウイルスのヒト→ヒト感染が拡大し、近いうちに日本国内でも流行する恐れがある。ただし、現状では過度に恐れる必要はない。
- 正しい手洗いの方法や正しいマスクの着脱法を覚えて励行しましょう。
- 地域の医療提供体制にも制約があります。症状が出た時のエチケットおよび行動ルールを知っておきましょう。
- 分かっていないことが多々ある中で感染が拡大すると、恐怖心や不安を煽るデマが必ず出てきます。パニックに陥った挙動は事態を更に悪化させるだけなので、最新の情報を確認しつつ、ぜひ冷静な対応をお願い致します。

幹事報告

- 1) 本日はありません。

ニコニコ



- 省 略 ☺ 岡井会員、本日の卓話宜しく願い致します。
- 省 略 ☺ 久後副幹事、今日はよろしく願いします。
- 省 略 ☺ 岡井さん、“紀州のこと”卓話楽しみにしています。
- 省 略 ☺ 岡井会員、卓話楽しみです。
- 省 略 ☺ 岡井会員、本日の卓話楽しみです。
- 省 略 ☺ 年賀状をいただいた皆様方、ありがとうございます。
- 省 略 ☺ 本日卓話担当です。よろしく願いします。
- 省 略 ☺ 吉田実盛さん、高浜さん、無理なお願いを聞いていただき、ありがとうございます。
- 省 略 ☺ テーブルの花いただきます。

以上9件 ¥13,000-
本年度累計¥1,266,000-

出席委員会

- ☆ 今 週 会員数 77 名 出席 40 名 出席免除 20 名 欠席 17 名
- ☆ 欠 席 者 省略

- ☆ 前 々 週 会員数 77 名 出席 50 名 出席免除 18 名 欠席 9 名
- ☆ メークアップ 加古川中央 RC 1/23 橋本眞、大山、五田、高田、大辻

親睦活動委員会

- 例会場当番
- 2月4日(火) 山本、森
- 2月8日(火) 松井、森田



プログラム委員会

本日1月28日(火)	2月4日(火)	2月11日(火)	2月18日(火)
卓話 「紀州のこと」 岡井 担当	フォーラム 『水と衛生』 一弊社の取り組みー (株)HER 芝本会員 国際奉仕(委)会担当	休会(祝日)	例会変更 東播第2グループ I.M. 8日(土)14:30～ 於;ウエディングパレス 鹿島殿

2月のおよろこび

- ◆ 誕生日祝 省略

- ◆ 結婚記念日祝
- ◆ 出席表彰
- ◆ 会社創立記念日

ロータリーの変革と成長の機会に目を向ける

次期 RI 会長が 2020-21 年度会長テーマを発表



国際ロータリー会長エレクトであるホルガー・クナーク氏(ドイツ、ヘルツォークトゥム・ラウエンブルク・メルン・ロータリークラブ所属)が、1月20日、サンディエゴ(米国カリフォルニア州)で開催中の国際協議会で講演し、人生や地域社会を豊かにするためにロータリーが与える機会をとらえるよう呼びかけました。

クナーク会長エレクトは、次期地区ガバナーに向けて 2020-21 年度会長テーマ「ロータリーは機会の扉を開く」を発表。ロータリーとは、クラブに入会するというだけでなく、「無限の機会への招待」であるとクナーク氏は述べました。

7月1日に会長に就任するクナーク氏は、奉仕プロジェクトを通じて会員自身や受益者の人生をより豊かにするための道を開くのがロータリーであると力説しました。

「奉仕の行いは、その大小にかかわらず、助けを必要とする人たちのために機会を生み出すものであると、私たちは信じている」とクナーク氏。また、ロータリーはリーダーシップの機会、奉仕のアイデアを実行に移すために世界を旅する機会、そして生涯続く友情の絆を築く機会を与えてくれる、クナーク氏は述べます。「私たちのあらゆる活動が、どこかで、誰かのために機会の扉を開いています」

未来のための変革

クナーク氏はさらに、ロータリーの発展のために変革を受け入れるよう会員に強く促しました。会員数を増やすために数字にこだわるのではなく、持続可能かつ有機的なかたちで成長できる方法を考えるよう求め、現会員を維持し、クラブにふさわしい新会員を募ることにクラブが注力すべきであると述べました。

“この機会をとらえてロータリーを成長させ、より強く、適応力を高め、中核的価値観により沿ったロータリーとなるのです“

**ホルガー・クナーク
国際ロータリー会長エレクト**

「新会員を、会員数を増やす人員であるかのように考え、やがて忘れてしまうというのは止める必要があります」と述べたクナーク氏。「どの新会員も、私たちに少しだけ変えてくれます。新しい視野と経験をもたらしてくれます。このような絶え間ない変化を受け入れる必要があります。新会員から学ぶことで、私たちはより強くなります」

ロータリーの行動計画はクラブの進化を導く羅針盤であると指摘したクナーク氏は、全クラブが少なくとも年1回、戦略計画会議を開くことを勧めました。この会議で、5年後にどのようなクラブになりたいかを自問し、クラブが会員により多くの価値をもたらす方法を考えるべきであると話します。

クナーク氏はまた、リーダー職にもっと多くの女性が就くこと、クラブの結成と運営にロータリーアクターが不可欠な役割を果たすこと、ロータリー会員であることの意味を考え直すこと、若い人たちに新クラブの設計者になってもらうことを提唱しました。

「新しいアプローチに心を開かなくてはなりません。若い人たちのためにユニークな新クラブをつくることは、解決策の一部にすぎません」とクナーク会長エレクト。

「自分たちに一番合うロータリーの体験はどのようなものかを、ロータリーアクターたち自らに決めてもらおうではありませんか。新クラブの設計者は、若い人たちであるべきです」

ロータリー会員が変化を受け入れることの必要性を強調した上で、「時間は私たちのためにスローダウンしてくれない」とクナーク氏は訴えます。「私たちは急速な変化に負けません。この機会をとらえてロータリーを成長させ、より強く、適応力を高め、中核的価値観により沿ったロータリーとなるのです」